

令和7年9月19日
作成 高山 幸

「ちえんじ ～図書室のすきまから～」

墨田区では、毎年各校で演劇鑑賞教室を実施しています。区から補助金が出るので、学校規模に関わらず全児童が同じ金額で鑑賞ができます。今年は、9月8日(月)に演劇を楽しみました。

読書家で豊かな感情をもっているのに、自分の思いを表すことができない5年生の彩花は、図書室で手にした「自分の願いを叶えてくれる本」の世界に飛び込み、王様とチェンジすることになります。



たくさんの本の世界を介しながら、「自分の思いを正直に伝えること」の大切さを強く強く感じ、元の世界に戻ってきた彩花は、すぐそばに自分の思いを受け入れてくれる友だちがいることにも気付くのです。

劇の途中で、街の人役として錦糸小学校の教員3人も舞台に上がりました。客席と一体となった舞台演出と、役者さんの思いが伝わる演技、なじみのある図書室という舞台設定に、子供たちは主人公と同じ本の世界に引き込まれていたようでした。

中学年対象「ニッセイ名作シリーズ 2025」

6年生対象「こころの劇場」

5月には6年生が「王子と少年」を、7月には3・4年生が「ジャック・オー・ランド～ユーリと魔物の笛～」を観に行きました。

「王子と少年」は、王子と貧しい少年が出会い、2人が瓜二つだったことから、お互いの境遇に興味をもち、入れ替わるお話です。子供たちに大変分かりやすく構成され、不遇な状況にあっても互いを信じ抜く王子と少年の思いに共感していた子供たちでした。

「ジャック・オー・ランド」も、魔物と人間が互いに信じ合う友情を描いた作品です。演劇だけでなく、劇場そのものの素晴らしさにも子供たちは感動していました。

本物との出会いに、子供たちは心を揺さぶられたようです。お話の世界、演劇の世界に浸り、感動する体験はきっと心を豊かにしてくれたと信じています。

